



## 2023年 12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月14日

上場会社名 株式会社ドリーム・アーツ 上場取引所 東  
 コード番号 4811 URL http://www.dreamarts.co.jp  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)山本 孝昭  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役 専務執行役員 (氏名)牧山 公彦 (TEL)03(5475)2501  
 四半期報告書提出予定日 2023年11月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年12月期第3四半期の連結業績(2023年1月1日~2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第3四半期	3,299	—	501	—	490	—	342	—
2022年12月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2023年12月期第3四半期 352百万円(—%) 2022年12月期第3四半期 一百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第3四半期	93.78	—
2022年12月期第3四半期	—	—

- (注) 1. 2022年12月期第3四半期については、四半期連結財務諸表を作成していないため、2022年12月期第3四半期の数値及び2023年12月期第3四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。  
 2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、当社株式は2023年12月期第3四半期の末日において非上場であり、期中平均株価が把握できないため記載しておりません。  
 3. 2023年5月31日付で普通株式1株を200株とする株式分割を行っています。そのため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しています。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第3四半期	2,949	1,206	40.9
2022年12月期	2,427	853	35.1

(参考) 自己資本 2023年12月期第3四半期 1,206百万円 2022年12月期 853百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年12月期	—	0.00	—		
2023年12月期(予想)				0.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2023年12月期の連結業績予想(2023年1月1日~2023年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,250	15.8	418	122.9	406	123.9	287	125.9	77.48

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2023年12月期3Q	3,834,600株	2023年12月期	7,945,000株
2023年12月期3Q	183,000株	2022年12月期	4,293,400株
2023年12月期3Q	3,651,600株	2022年12月期3Q	3,651,600株

(注) 2023年5月31日付で普通株式1株を200株とする株式分割を行っています。そのため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、「期末発行済株式数」「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しています。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付の「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9
(1 株当たり情報)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。なお、当社は、前第3四半期連結累計期間については四半期連結財務諸表を作成していないため、前年同四半期連結累計期間との比較分析は行っていません。

当社グループは、「協創する喜びにあふれる人と組織と社会の発展に貢献する」というミッションを掲げ、「BD市場のリーディングカンパニー」を目指し、大企業向けSaaSプロダクトを始めとするクラウドサービスおよびソフトウェアライセンス・メンテナンスの販売、ならびにプロフェッショナルサービスの提供を行っております。

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、コロナ禍の鎮静化による経済活動の正常化が進みつつある一方で、ウクライナ危機に伴うエネルギー・食料価格の高騰や、欧米各国の金融引き締めによる世界的な景気後退懸念など、依然として不透明な状況が続いております。

当社グループが属する大企業向けソフトウェア業界におきましては、事業環境の変化に迅速に適応していくためDX（デジタルトランスフォーメーション）を推進する必要性に迫られており、業務デジタル化を支援するSaaS型クラウドサービスの需要が拡大しております。

このような環境において、当社グループは、「デジタルの民主化」というコンセプトのもと、ノーコード開発ツール「SmartDB®」を成長ドライバーとして事業を推進してまいりました。部門単位でのスピーディーな導入を促進しつつ、手厚い支援サービスの提供を通じて活用の幅を広げ、アップセルを促進しております。また、「SmartDB®」以外のSaaSプロダクト（InsuiteX®、Shopらん®）との機能的な連携を強化し、クロスセルを推進しております。

認知度向上の面では、顧客の業務デジタル化事例や、業務改革の成功事例に加え、当社独自の調査をもとに国内IT産業の課題に関するレポートを発信するなど、コーポレートブランドの確立に注力してまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高3,299,707千円、営業利益501,251千円、経常利益490,105千円、親会社株主に帰属する四半期純利益342,457千円となりました。

セグメント別の経営成績は次の通りであります。

なお「セグメント利益」は、各セグメントに管理部門経費等の一般管理費（調整額）を負担させる前の営業利益となります。従って、各セグメント利益の合計額から調整額を控除した額が営業利益となります。

#### <クラウド事業>

クラウド事業では、ホリゾンタルSaaSの「SmartDB®」「InsuiteX®」、バーティカルSaaSの「Shopらん®」、および特定顧客向け開発運用一体型クラウドサービス「DCR」の提供を行っております。

当社グループは「SmartDB®」を主力製品と位置付けており、当第3四半期連結累計期間におきましても、継続して積極的な開発投資を行ってまいりました。市民開発による「現場業務のデジタル化」から、ERPフロントシステムなどの「ミッションクリティカル領域を支えるシステム」に至るまで、幅広い領域で活用いただくための性能向上と機能開発に注力しております。

また、新規顧客開拓の面では、オンラインイベントの開催や各種展示会への出展など、イベントを中心とするマーケティング施策に注力するとともに、インサイドセールスを活用した潜在顧客の需要喚起に積極的に取り組んでまいりました。一方、既存顧客に向けては、「SmartDB®」の活用コンサルティングを通じ、ユーザーおよび適用業務の拡大を促した結果、アップセルが好調に推移いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間におけるクラウド事業のセグメント売上高は2,277,827千円、セグメント利益は712,810千円となりました。

#### <オンプレミス事業>

オンプレミス事業では、「SmartDB®」および「INSUITE®」のパッケージライセンスおよびメンテナンスを販売しております。ただし、新規顧客に対する販売は2018年12月に停止しており、現在は既存顧客の追加発注に限定して対応しております。

当第3 四半期連結累計期間においては、SaaS環境へ移行する顧客の契約終了などもあり、メンテナンス契約の解約が進行いたしました。一方で大型の追加ライセンスを受注したほか、2023年4月以降に更新となるメンテナンス契約の値上げを実施したため、売上の減少スピードは緩やかなものとなりました。

以上の結果、当第3 四半期連結累計期間におけるオンプレミス事業のセグメント売上高は461,628千円、セグメント利益は212,864千円となりました。

#### <プロフェッショナルサービス事業>

プロフェッショナルサービス事業では、各種SaaSプロダクトの導入コンサルティングや活用促進サービス、DCRの追加開発および改修サービスなど役務提供を主体とするサービスを提供しております。

当第3 四半期連結累計期間においては、ERPフロントシステムとして「SmartDB®」を活用する大規模プロジェクトの支援サービスを継続受注いたしました。また、SmartDB®の導入コンサルティングについても一定の需要が見られ、受注が堅調に推移いたしました。

以上の結果、当第3 四半期連結累計期間におけるプロフェッショナルサービス事業のセグメント売上高は560,251千円、セグメント利益は109,740千円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### (資産)

当第3 四半期連結会計期間末における資産合計は2,949,204千円となり、前連結会計年度末に比べ、521,370千円増加しました。これは主に、現金及び預金の増加611,367千円、売掛金及び契約資産の減少104,624千円及び前払費用の増加58,265千円によるものです。

### (負債)

当第3 四半期連結会計期間末における負債合計は1,742,823千円となり、前連結会計年度末に比べ、168,910千円増加しました。これは主に、契約負債の増加220,521千円、賞与引当金の減少54,492千円によるものです。

### (純資産)

当第3 四半期連結会計期間末における純資産は1,206,380千円となり、前連結会計年度末に比べ、352,459千円増加しました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上によるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年12月期の連結業績予想につきましては、本日公表いたしました「東京証券取引所グロース市場への上場に伴う当社決算情報等のお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第3 四半期連結会計期間 (2023年 9 月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,267,416	1,878,784
売掛金及び契約資産	333,476	228,852
仕掛品	501	5,703
前払費用	84,019	142,285
その他	10,599	633
流動資産合計	1,696,014	2,256,258
固定資産		
有形固定資産	103,654	99,722
無形固定資産		
ソフトウェア	232,914	228,374
その他	321	140
無形固定資産合計	233,235	228,515
投資その他の資産	394,928	364,707
固定資産合計	731,818	692,945
資産合計	2,427,833	2,949,204

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	66,315	74,060
未払法人税等	78,692	92,163
契約負債	633,659	854,181
賞与引当金	143,152	88,659
その他	293,907	277,920
流動負債合計	1,215,726	1,386,985
固定負債		
社債	300,000	300,000
資産除去債務	55,543	55,838
その他	2,643	-
固定負債合計	358,186	355,838
負債合計	1,573,912	1,742,823
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	300,000	300,000
資本剰余金	324,661	-
利益剰余金	906,030	908,403
自己株式	△694,341	△29,595
株主資本合計	836,351	1,178,808
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	17,546	27,549
その他の包括利益累計額合計	17,546	27,549
新株予約権	22	22
純資産合計	853,920	1,206,380
負債純資産合計	2,427,833	2,949,204

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3 四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第3 四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
売上高	3,299,707
売上原価	1,512,642
売上総利益	1,787,065
販売費及び一般管理費	1,285,814
営業利益	501,251
営業外収益	
受取利息	264
その他	13
営業外収益合計	278
営業外費用	
支払利息	557
株式交付費	2,629
上場関連費用	2,625
為替差損	5,016
支払手数料	595
営業外費用合計	11,423
経常利益	490,105
税金等調整前四半期純利益	490,105
法人税、住民税及び事業税	118,130
法人税等調整額	29,517
法人税等合計	147,648
四半期純利益	342,457
親会社株主に帰属する四半期純利益	342,457



四半期連結包括利益計算書  
第3 四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第3 四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	342,457
その他の包括利益	
為替換算調整勘定	10,002
その他の包括利益合計	10,002
四半期包括利益	352,459
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	352,459

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

(株主資本の著しい変動)

当社は、2023年3月14日開催の取締役会決議に基づき、2023年3月31日付けで、自己株式20,552株の消却を実施しております。この結果、当第3四半期連結累計期間において資本剰余金が324,661千円、利益剰余金が340,084千円、自己株式が664,746千円減少し、当第3四半期連結会計期間末において利益剰余金が908,403千円、自己株式29,595千円となっております。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

企業会計基準適用指針第31号「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(2021年6月17日 企業会計基準委員会。以下、「時価算定適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。

なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	クラウド	オンプレミス	プロフェッショナルサービス	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,277,827	461,628	560,251	3,299,707	—	3,299,707
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,277,827	461,628	560,251	3,299,707	—	3,299,707
セグメント利益	712,810	212,864	109,740	1,035,415	△534,164	501,251

(注) 1. セグメント利益の調整額△534,164千円は、報告セグメントに配分していない全社費用の金額であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## (重要な後発事象)

## (公募による新株式の発行)

当社は、2023年10月27日付で東京証券取引所グロース市場に株式を上場いたしました。この上場にあたり、2023年9月22日及び2023年10月10日開催の取締役会において、新株式の発行を次のとおり決議し、2023年10月26日に払込が完了しました。

- (1) 募集方法 : 一般募集 (ブックビルディング方式による募集)
- (2) 発行する株式の種類及び数 : 普通株式 220,000株
- (3) 発行価格 : 1株につき 2,660円 (注) 1
- (4) 引受価額 : 1株につき 2,447.2円 (注) 2
- (5) 資本組入額 : 1株につき 1,223.6円
- (6) 発行価格の総額 : 585,200千円
- (7) 引受価額の総額 : 538,384千円
- (8) 資本組入額の総額 : 269,192千円
- (9) 払込期日 : 2023年10月26日
- (10) 資金の使途 : 運転資金として顧客基盤拡大のための販売促進費及び、設備投資資金として製品開発資金に充当する予定であります。

(注) 1. 一般募集はこの価格にて実施いたしました。

2. この価額は当社が引受人より1株当たりの新株式払込金として受け取った金額です。なお、発行価格と引受価額との差額の総額は、引受人の手取金となります。

## (1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
1株当たり四半期純利益	93円78銭
(算定上の基礎)	
親会社株主に帰属する四半期純利益(千円)	342,457
普通株主に帰属しない金額(千円)	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益(千円)	342,457
普通株式の期中平均株式数(株)	3,651,600
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	—

(注) 1. 2023年5月31日付けで普通株式1株につき普通株式200株の割合で株式分割を行っております。当連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、新株予約権が存在するものの、当社株式は当第3四半期連結会計期間末において非上場であり、期中平均株価が把握できないため、記載しておりません。